

日々の学習で級友とさらに親しく!

夏休みが終わるとすぐに期末テストがありました。否応なしに学校生活は過ぎていきます。そうした日々の中で、2組の仲間がよりいっそう親愛感を深めてほしいといつも思っています。

一昨日の道徳では、読み物資料をもとにみんなで考えたり、意見を出し合ったりしました。自分では意見を言えなかった人も、人の意見を聞いたりする中で気づかされこと・学ぶことがあったでしょう。授業後にそんな感想を書いてくれた人もいます。

今号では、道徳の内容を中心に紹介し、お互いが学び合い高め合っていく学級生活の一端を報告します。

9月10日(水) 道徳・・・「あるレジ打ちの女性」

<資料> 小冊子「涙の数だけ大きくなれる!」木下晴弘より

「あるレジ打ちの女性」あらすじ

その女性は何をしても長続きしない子でした。大学のサークルなどに入ってもすぐに辞め、次々と所属を変えてしまうような子だったのです。就職してもそのクセが直らず、仕事に飽きたり上司とぶつかったり・・・、トラブルを起こして職を転々とするありさまでした。

スーパーのレジ打ちの仕事も単純な作業にすぐに飽きてしまい、辞めて田舎に帰ろうとします。引っ越しのために荷物整理をすると、ふと小さな頃の日記が見つかります。そこには「ピアニストになりたい!」という一途な夢が書かれ、毎日努力していた自分を思い出させてくれます。

レジ打ちも“自分流の打ち方を極めてみよう”と努力が始まり、次第にお客さんと会話ができるほどに上達し、その会話に喜びを見出すようになります。いつしかお客さんに親しまれ、コミュニケーションを楽しみ、仕事のすばらしさに感動している、昔の自分とは大きく変わった自分に気づきます。

※ 学級通信「凜」を作りながら小冊子を見直すと、何とこの話の感動ムービーが見られるとあります! 『涙の数だけ大きくなれる!』というホームページで見られます。BGM もいい雰囲気です。 <http://www.forestpub.co.jp/namida/>

さて、道徳で考え意見を発表し合ったみなさんは、その授業でどんなことを思ったでしょう。

授業を終えて・・・

この女性は、努力できずにすぐに会社を辞めてしまう。僕と一緒にだと思いました。だれでも勉強なんかしたくないと思っていますが、それでもみんな勉強をしている。でも僕はこの女性と同じに努力ができずに勉強ができない。僕も自分なりの勉強法を見つけて頑張りたいです。(T)

この女性は道に迷っていたんだと思います。一本の道ではなく、そこに行くまで遠回りしていたのだと思います。表面では「嫌だ、ダメだ」と言っていたけれど、心の中で悩んでいたでしょう。道が見つかったきっかけは、日記だったりお客様だったり、自分自身だったと思います。(M)

この時間、自分が思いもしなかったいろいろな意見が出ているので、人は同じ話を聞いても感じ方はそれぞれみんな違うのだと思った。(A)

レジ打ちの女性は、人とのコミュニケーションを忘れていたことを何で気づかなかったのだろうと思った。また、今日の学習で、自分を必要としてくれる人が社会にはいるのだということ学んだ。この学習をして良かった。これからの私の将来につなげたい。(S)

とてもいい意見が出ました。このような話から考えたり意見を出したりするのはすばらしいことだと思います。これから考えを書いたりしていけば良いと思います。(H)

自分のことを必要としてくれる人がいると気づいただけで人が変わるというのがすごいことだと思います。幼い頃の自分が今の自分を変えたことが大きかったと思いますが、お客さんとのコミュニケーションがこんなに彼女を変えたのだということがわかった。(M)

たった1時間の授業でも、お互いが思うところを出し合えば、理解や共感の輪が広がりますね。大きな行事の時だけでなく、日頃の活動でももっとわかり合ったり協力し合ったりしていきたいですね！